

人工海浜利用者の海岸ゴミに対する意識調査

千葉工業大学 学生員 並木 勇輔
 千葉工業大学 内山 丈弘
 千葉工業大学 学生員 矢島 秀二
 千葉工業大学 フェロー 矢内 栄二

1. はじめに

海岸は、年間を通じて多様な目的で多くの人に利用されている。東京湾奥部に位置する人工海浜いなげの浜では、年間約20万人以上の人々が利用している。しかし、海岸ゴミが利用者に大きな影響を及ぼしており、海岸ゴミの処理は海岸管理者にとって重要な問題となっている。本研究では、海岸ゴミに対する利用者の意識を把握するため、人工海浜「いなげの浜」において利用者の意識調査を行った。

2. 調査概要

調査海浜は、図-1に示す千葉県千葉市に位置するいなげの浜であり、海岸利用者にアンケート調査を行った。調査期間は2003年および2004年4月～8月とし、利用者の多い午前10時～午後2時に実施した。調査日の対象者数、天候・気温は表-1に示した通りである。アンケート内容は表-2に示したように、利用者の属性、利用目的と頻度、海岸ゴミに対する評価と関心度など11項目とした。



図-1 いなげの浜

表-1 調査日の回答者数、天候および気温

季節	調査日	対象者数 (人)	天候	気温(°C)		
				最高	最低	平均
春季	2003/4/29 (火)	73	晴	24.4	14.9	19.7
	2003/5/3 (土)	144	晴後曇	24.6	17	20.1
夏季	2003/6/14 (土)	50	曇後雨	29.7	20	24.9
	2003/8/11 (月)	71	晴	31.8	26.1	28.9
春季	2003/8/23 (土)	122	晴	32.1	24.9	28.5
	2004/4/29 (木)	92	晴	23.9	10.2	16.4
夏季	2004/5/23 (日)	38	曇後雨	15.2	11.4	13.1
	2004/6/5 (土)	81	晴	27.6	16.3	22.1
夏季	2004/7/24 (土)	72	晴	32.5	25.8	28.8
	2004/8/17 (火)	30	曇後雨	24.1	21.5	23.3

表-2 海岸ゴミに関するアンケートの設問内容

設問	アンケートの設問内容
1	性別を教えてください。
2	あなたの年齢を教えてください。
3	あなたは今日誰と来ましたか。
4	あなたは今日どこから来ましたか。
5	あなたは今日どんな目的でいなげの浜を利用していますか。
6	あなたは今日いなげの浜を選んだ理由を教えてください。
7	どのくらいの頻度でいなげの浜を利用しますか。
8	いなげの浜のゴミは多いと思いますか。
9	いなげの浜では定期的にゴミの清掃を行っていることをご存じですか。
10	いなげの浜のゴミの清掃を誰がしなければいけないと思いますか。
11	ゴミを減らす手段として最適なのは次のどれだと思いますか。

3. 結果と考察

3.1 海岸利用者の特性

表-3の回答者の内訳を見ると、利用者の多くが家族であり、30代の利用者が最も多く見られた。図-2は、海岸の利用目的の集計結果を示したものである。春季では、散歩が全体の57%を占め最も多い。夏季では、海水浴が全体の38%であり、次に砂浜でのレクリエーション37%、散歩24%、マリンスポーツ2%である。この結果から、春季には散歩および砂浜でのレクリエーション、夏季には海水浴など多目的で利用されていることがわかる。

表-3 回答者の内訳

年齢構成	4月～8月(2003年)				4月～8月(2004年)			
	家族	友達	一人	その他	家族	友達	一人	その他
～19歳	2	55	1	5	5	13	0	0
20歳～29歳	26	29	10	4	17	54	6	8
30歳～39歳	128	19	12	2	85	6	9	3
40歳～49歳	48	3	8	0	32	1	7	1
50歳～59歳	35	3	15	0	17	1	7	2
60歳～	33	3	18	1	19	2	17	1
計	272	112	64	12	175	77	46	15
総計	460				313			

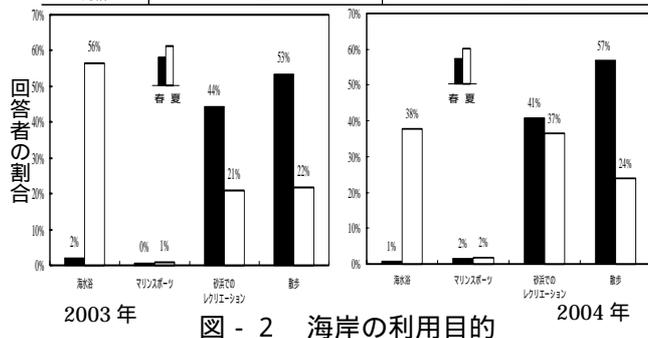


図-2 海岸の利用目的

3.2 海岸ゴミに対する印象

図 - 4 は、海岸ゴミに対する印象を 2003 年と比較したものである。最も変化が認められるのは、夏季であり、海岸ゴミが「非常に多い」「多い」と評価した人が、17% 9%へ、41% 31%へ、それぞれ減少している。また、「非常に少ない」「少ない」と答えた人が、17% 28%へ、0% 1%へと増加している。

3.3 海岸ゴミ対策

図 - 5 は、利用者が考える海岸ゴミ対策の集計結果を住居地別に示したものである。「利用者がゴミを出さない」は全体の約 60% 73%、「ゴミ箱を増やす」は 34% 18%、「ゴミ箱の設置場所を変える」は 6% 4%であり、「利用者がゴミを出さない」は 2003 年と比べ上昇している。また、「ゴミ箱を増やす」「ゴ

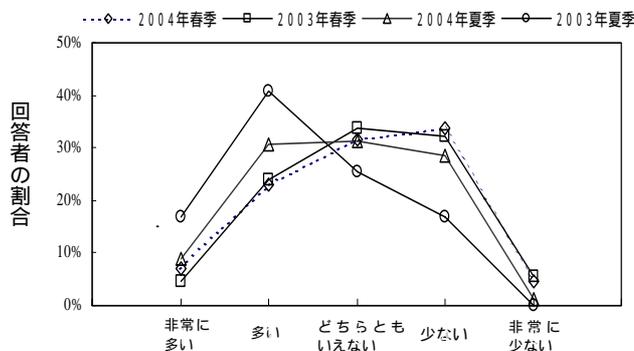


図 - 4 海岸ゴミに対する印象

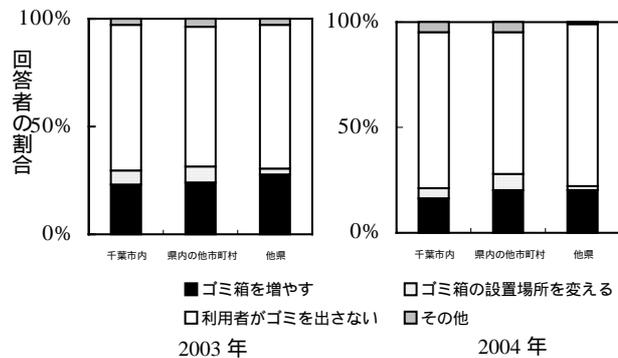


図 - 5 利用者が考える海岸ゴミ対策

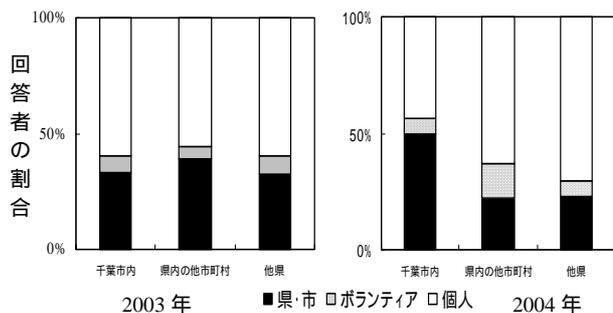


図 - 6 利用者が考える清掃適任者

ミ箱の設置場所を変える」といった回答は 2003 年と比べ低下している。このことから、清掃意識が個人へと変化しているのがわかる。

3.4 清掃適任者および定期清掃の認知度

図 - 6 は、利用者が考える清掃適任者の集計結果を住居地別に示した。さらに、2003 年の結果と比較した。「県・市」は 35% 37%、「ボランティア」は 7% 9%、「個人」は 54% 58%である。「個人」は 2003 年と比べ上昇している。また、「県・市」「ボランティア」といった回答は 2003 年と比べ低下している。このことから海岸ゴミ対策と同様、個人の清掃意識が高まってきていることがわかる。

そこで、海岸の定期的清掃の認知度を調べた結果を図 - 7 に示す。定期清掃を知っている利用者は「千葉市内」は 43%と最も高く、次に「県内の他市町村」は 37%、「他県」は 19%である。2003 年の結果と比較すると、「千葉市内」での認知度の変化は見られないが、「県内の他市町村」「他県」では認知度が上昇していることがわかる。このことから、利用者の自己清掃意識を高めるためには定期清掃の認知度の向上が必要である。

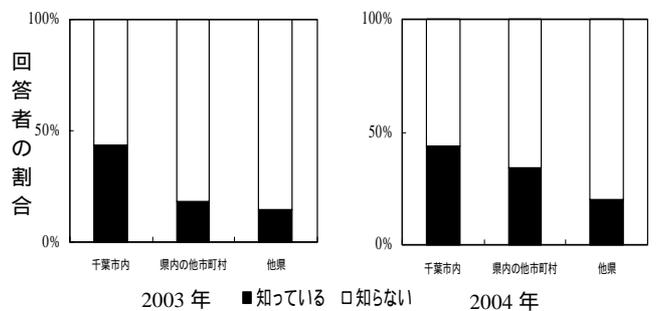


図 - 7 海岸の定期清掃の認知度

4. まとめ

千葉市内での定期清掃の認知度は 2003 年と比べ変化は見られないが、「県内」「他県」と比べ最も高い。しかし清掃意識が低下している。また、「県内」「他県」においては定期清掃の認知度は上昇にあり、清掃意識も高まっていることがわかった。

参考文献

- 井上雅夫・橋中秀典・近藤雅彦・橋詰雅子(2002): 秋冬季における砂浜海岸の利用実態調査, 海岸工学論文集, 第 49 巻, pp1396-1400
- 米田規幸・本田徳裕・矢島秀二・鈴木大介・矢内栄二(2004): 人工海浜における夏季利用者の海岸ゴミに対する意識調査, 第 31 回関東支部技術発表発表会講座概要集, (CD-ROM).